

12月30日、自由民主党、民主党及び自由党が連立形成の合意文書に署名。同日、議会はルプ民主党党首を議会議長に選出し、ルプ議会議長は大統領代行に就任。

A. 主な動き

1. 内政

議会の召集及び連立形成の発表

- ・28日、議会が召集され、30日に議会議長を選出することを決定。ギンプ大統領代行の退任に伴い、フィラト首相が大統領代行に就任。
- ・30日、民主党は、党代表会議において自由民主党及び自由党との連立形成を決定。その後、自由民主党、民主党及び自由党は、連立与党「欧州統合のための同盟」(A EI)形成の合意文書に署名。
- ・30日、議会は、議員101名のうち57名の賛成をもってルプ民主党党首の議会議長への選出を決定。ルプ議会議長は大統領代行に就任。また、議会は、ブラホドニウク民主党議員の議会第一副議長への選出及びパリホヴィチ自由民主党議員の議会副議長への選出を決定。
- ・31日、ルプ大統領代行は、フィラト自由民主党党首を首相候補とする大統領令に署名。これを受け、フィラト首相候補に1月14日までに政府活動計画面案及び閣僚案を議会に提出する義務が発生。

主要政党関係者の発言

- ・30日、ヴォローニン前大統領は、自由民主党、民主党及び自由党による連立は、共産党及び国民の意見を無視したものであると非難。
- ・30日、ディアコフ自由民主党名誉党首は、閣僚の配分は、自由民主党7、民主党5、自由党5となり、共産党には副首相のポストが与えられると発言。
- ・5日、ギンプ自由党党首は、大統領の選出方法を変更するための憲法改正の必要があると発言、A EI内の合意は得られていないとしつつ、再度の国民投票実施の可能性を示唆。

その他

- ・29日、選挙管理委員会は、26日に実施されたガガウズ自治共和国首長選挙決選投票の結果を確定し、フォルムザル現首長の再選が決定。これに対し、ドゥドグロ・コムラト市長は、異議を表明。
- ・30日、英国「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」社は、民主度国際ランキングを発表。モルドバの民主度ランキングは、一昨年の62位から65位に降下したものの、ウクライナを抜きNIS圏内最高位に。

2. 経済

マクロ経済

- ・29日、フィラト首相兼大統領代行は、2010年のGDP成長率は7%程度の見込みと発表。

3. 外交

- ・31日、ウクライナ外務省は、モルドバにおける連立与党結成を歓迎する声明を発表。
- ・3日、シューベル駐モルドバEU大使は、EUがモルドバ新議会の成立及びルプ国会議長の選出を歓迎する旨の声明を発表。
- ・3日、在モルドバ米国大使館は、米国がモルドバ新議会の成立及びルプ国会議長の選出を歓迎する旨の声明を発表。
- ・4日、ブゼク欧州議会議長は、モルドバにおける連立与党結成を歓迎、EUがモルドバの改革に対する支援を継続する旨発言。
- ・6日、レアンカ外務・欧州統合相は、ポーランド、ハンガリー、リトアニア及びイタリア外相と電話会談。4カ国外相は、モルドバの改革及び近代化路線継続と与党3党の欧州路線を歓迎。レアンカ外務・欧州統合相は、2011年にEU議長国に就任するポーランド及びハンガリーの外相とモルドバの欧州統合についても協議。
- ・6日、レアンカ外務・欧州統合相は、2011年にモルドバ並びに露及びウクライナ間の対話があらゆるレベルで深化されるべきと発言。
- ・10日、ヴォルニツキー首相報道官は、モルドバ国民向けのEU査証廃止に関する行動計画の付与のため、マルムストロムEU内務担当委員がモルドバを1月24日に訪問予定と発表。

4. 沿ドニエストル

- ・26日、共産党は、ヴァルダニヤン記者の解放に向けた努力を怠っていると政府を非難。同記者の解放に向け可能な限りの影響力行使を各外交団に要請。
- ・27日、ヤストレプチャク沿ドニエストル「外相」は、露を実務訪問、「5+2」者公式協議の再開の見通しも含めた沿ドニエストル問題解決にかかる問題、国境を越えた協力等につき協議。
- ・29日、議会は、43名中34名の賛成をもってカミンスキー前議会議長を議会議長に再選。

5. 防衛

- ・28日、6機のMig - 29戦闘機の3回目の競売を計画した

ものの、参加者不在により中止。

B . その他の動き

12 / 28 (火)

・マリヌタ国防相は、国の安全保障状況改善のため、現在の国防予算の5倍となる約10億レイが必要と発言。更に、現在の予

算は約70%が給与等に使用される等、軍の近代化が実施不可能であると付言。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)